

1. 概要

(1) 所在地 金沢市小立野2丁目933

(2) 面積 83,902㎡

(3) 位置 別紙のとおり

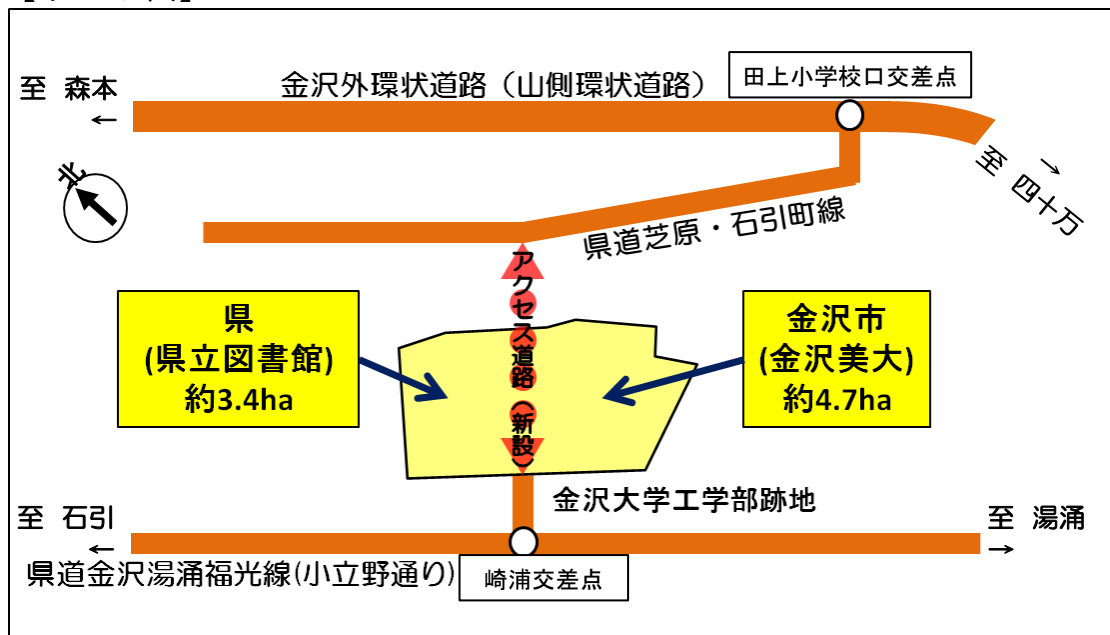
(4) 土地利用の経緯

- ・大正9年(1920.11) ・金沢高等工業学校(金沢大学工学部の前身)が開校
※昭和19年4月に金沢工業専門学校に改称
- ・昭和24年(1949.5) ・金沢大学工学部となる
- ・平成16年(2004.8) ・角間キャンパスへの移転開始
- ・平成19年(2007.7) ・角間キャンパスへの移転完了
- ・平成23年(2011.3) ・金沢大学工学部跡地利活用検討委員会とりまとめ
「文教地区に相応しい公共が関わるべき利活用を図るべき」
「山側環状からの工学部跡地へのアクセス改善に向けた方策を検討すべき」
～ 金沢大学が建物撤去等実施(H26.3～H28.1) ～
- ・平成26年(2014.2) ・金沢市が重点戦略計画を策定
(金沢美術工芸大学の工学部跡地への移転を検討)
- ・平成28年(2016.3) ・県が長期構想を策定
(県立図書館を工学部跡地に移転・建替)

(5) 建設予定地について

- ・工学部跡地内を通り、小立野通りと山側環状を結ぶアクセス道路を整備
- ・県は道路北側(約3.4ha)、金沢市は道路南側(約4.7ha)を取得予定

【イメージ図】



2. 周辺の状況、アクセスなど

(1) 住宅

- ・工学部跡地周辺は住宅用地が多く、田上地区では近年、住宅地が形成され、人口も増加中

(2) 文化歴史・自然

- ・兼六園周辺文化の森(美術館や博物館など)の所在する地域に隣接する地域
- ・前田家に縁のある天徳院など小立野寺院群が近隣に存在
- ・風致地区に囲まれており、辰己用水が隣接

(3) 施設等

<文教関連>

- ・周辺には、小学校、中学校、高校、金沢美大、金沢大学(宝町、鶴間キャンパス)等がある
- ・半径5km程度の山側環状周辺に、金沢大学(角間キャンパス)、金沢工業大学、金沢星稜大学、北陸大学、金沢学院大学、北陸学院大学をはじめとする高等教育機関が立地

<商業関連>

- ・金沢湯涌福光線(小立野通り)に商業施設が立地するほか、山側環状線沿いには大型SC、ホームセンター等が立地

<その他>

- ・医療施設:金沢大学附属病院、金沢医療センターが小立野通りに立地
- ・子ども交流センター(プラネタリウム)が犀川対岸に立地

(4) アクセス

<車>

- ・山側環状道路…能登方面はのと里山海道白尾IC、加賀方面は加賀産業開発道路と接続
- ・小立野通り…金沢市中心部からのアクセス

<公共交通>

- ・金沢駅から約20分～30分(バス) 日中1時間に約4～5本
- ・中心市街地(香林坊)から15分程度(バス) 日中1時間に約2～4本